

2022年5月号 No.104

# アイ・リンクだより

2 P : 代表ご挨拶 3 P : 第 12 回経営理念大賞

4 P : 経営方針発表会・入社式

5~6 P : 2022年度新入社員

7 P : 辞令・昇格者紹介

8 P 新スタッフさん紹介

# INTERVIEW

## 第12回経営理念大賞 受賞者決定

代表 石島 久司

—ごあいさつをお願いします。

**代表** スタッフさん、ご家族の皆さま、日々の業務に対しまして、ご協力誠にありがとうございます。

—経営理念大賞の発表が行われました。この賞について振り返っていただけますか？

**代表** 経営理念ができたのが2004年です。その後、経営理念を浸透していくことが課題となりました。そこで、「朝礼」、「理念と経営の勉強会」、そして「経営理念大賞」。これを三本柱にして、取り組みを始めました。

この賞は、経営理念に沿った行動をしている人を表彰するものです。新型コロナウイルス感染症前までは、表彰者を全員招待して表彰式+懇親パーティーを開催していました。タレントさんと呼んでの余興もやっていたね。コロナ渦で開催できていない状況ですが、もう少し落ち着いたら開催したいですね。

—選考での苦労等がありますか？

**代表** 各社で推薦書を書いていただき、選考をしています。悩みながら投票をしていますね。推薦書には、「お客様から評価されている」や「常にトラックをきれいにしている」、一緒に働く人が感動したエピソードなどさまざまですね。スタッフさんたちがお互いの良いところを見つけ合うことにもつながっているように感じます。

—四半期MVP制度の導入など、少しずつバージョンアップしている印象を受けますが、今後の変革はありますか？

**代表** 受賞人数についてですね。会社の規模が大きくなっているので、受賞対象人数を拡大していく必要もあると感じています。

—受賞された方々へひとことお願いします。

**代表** 受賞者の皆さま、おめでとうございます。引き続き理念に沿った行動をとっていただき、グループ全体の理念浸透をしていくためにご協力をお願いします。

—ありがとうございます。最後に一言お願いします。

**代表** 前年度は事故が非常に多かったです。今年度は事故0に向けて安全第一で取り組んでください。



アイ・リンクホールディングス応接室に飾られる  
経営理念大賞・最優秀賞受賞者

# 最優秀賞に多胡さん (協栄)

表彰状を受け取った多胡さん(協栄運輸で、前列右から、石島代表、多胡さん、平田専務)後列右から、澤田社長、平田会長



アイ・リンクグループの経営理念「真心つなぎ 人財づくり」を率先するスタッフさんを表彰する「第12回経営理念大賞」の受賞者が決定した。四半期 MVP の中から、協栄運輸の多胡さんが最優秀賞を受賞。特別賞には石島運輸倉庫の周東美幸さんが選ばれた。新型コロナウイルス感染症の影響で、授賞式は無し。各事業会社で表彰式が行われた。

## 第12回経営理念大賞 受賞者決定



### —お客様へ、同僚へ、真心つなぐ— 多胡 和秀さん (協栄運輸、ドライバーさん)

大型車両で工場—倉庫間移動をメインに活躍している多胡さん。2021年6~8月の四半期 MVP に選出され、最優秀賞に選ばれた。もの静かで、業務にあたる姿は実直そのもの。待ち時間にお客様先の敷地清掃をするなど、お客様からは「余計な手伝い事も嫌な顔せず手伝ってくれて大変助かっている」という言葉を頂いた。さらに多胡さんの活躍から新規案件の獲得にもつながった。平田専務は「お客様でさまざまな業務を手伝っているのはもちろん、協栄では他のドライバーさんと協力して車両のメンテナンスに取り組んだり、新人教育もやってくれています。思いやりがあって、非常に助かっています」とする。「職場(協栄)が良い環境なので、周りの人のおかげです。協栄から自分以外の受賞者を出せれば」と話していた多胡さん。最優秀賞受賞後も変わらずひたむきに仕事に取り組んでいる。



### 特別賞 周東 美幸さん (石島運輸倉庫 第一事業部 輸送課)

—営業所全体を明るく—



特別賞を受賞した周東さん(石島運輸倉庫で)

思いやりを持って業務に取り組み、営業所全体を明るくしている周東さん。事務所では困っていたり、悩んでいる人に声かけを実施。ドライバーさんに対しては、いつも笑顔でその日の業務内容等での困りごとや体調面などを常に気をかけている。上記を踏まえ、推薦に挙げられた。川島社長は推薦の中で「周囲に対して多くの気配りをしている。配車業務では中心的に活躍し、同僚の教育も手掛けている。『人財づくり』『チャレンジ精神』がとても立派です」と称えている。

## 第13回も始動

【対象期間】  
2022年3月1日~23年2月15日  
(3~5月、6~8月、9~11月、  
12月~2月15日)

各回で3名 MVP を選出

各回 MVP 受賞者から22年度の、「最優秀賞」「特別賞」「優秀賞」を選定

優秀賞・敢闘賞・永年勤続の  
受賞者は、次号で詳報いたします。

# 新入社員 8名が入社

2022年度入社式が4月1日、アイ・リンクホールディングスで開かれた。今年度は大学卒3名、専門卒1名、高校卒4名が入社。辞令を受け取った後のあいさつでは、「会社に必要とされる存在となります」「謙虚な姿勢で一生懸命がんばります」などとそれぞれが意気込みを表明。社会人としての第一歩を踏み出した。

石島代表は新入社員を歓迎した上で、「グループのスローガンにC&C(チェンジ&チャレンジ)がある、特に新入社員にとってはチャレンジが重要。無鉄砲に挑戦ではなく、考えて考えて挑戦し、失敗してもくじけることなく、自身で研究して挑戦し続けてほしい」とエールを送った。



【前列左から】坂本聖奈さん、武井督さん、佐々木渉さん【前列右から】山口ひなたさん、茂木峻真さん、清水厳さん

## 2022年度アイ・リンクグループ経営方針発表会

### グループ一丸でネクストステージへ 各社が方針・売上目標を宣言



2022  
4/2  
saturday

アイ・リンクグループの全事業会社の役員らが集い、昨年度実績や今年度基本方針を発表する「2022年度アイ・リンクグループ経営方針発表会」が4月2日、群馬県桐生市の桐生市市民文化会館で開かれた。今年度はグループ全体での売り上げを105億に設定しており、石島代表は「売上100億の突破という、ネクストステージへ挑戦する年」となり、業績と同時にしっかりと部下育成を」と人財づくりに強調した。

同会議には、45名が出席。各社の社長が順番に登壇し、昨年度実績を振り返った。また、22年度基本方針概念図をもとに、新たな売上目標達成を公表し、達成へ胸を張った。



経営方針発表会の出席者  
(4月2日、桐生市市民文化会館)

# 社会人としての第一歩



社会人への第一歩を踏み出した新入社員8名。入社式で見せた初々しい表情も、日々を通して精悍な顔つきに！。

大学卒の3名は、入社してから1カ月間、アイ・リンクホールディングス経営企画部主管で研修に取り組んだ。

4月4、5日は、オンラインで外部の新卒研修を受講。率先して発言する、他社の新卒社員にも囲まれ、「もっとがんばらない」と受け止めた3人。

社内研修では、「あいさつ」から「言葉遣い」、「グループルール」などを学び、いざ拠点研修へ。石島運輸倉庫、マルトウ、アイ・ロジアドバンスで、グループの理解を深めた。

自身の学びを発表する機会を何回も作ったことで、1カ月の研修を通して表情には自信も。5月から各社に配属され、謙虚にがむしやりに業務に取り組んでいる。大学卒の3名を紹介する。

## 大学卒：新入社員研修1カ月



**齋藤 颯大**  
アイ・リンクホールディングス  
経営企画部 配属

### 挑戦

高崎市出身で、千葉県内の大学に進学。4月からの約1カ月の研修で、「前向きさ」や「素直でいることの大切さ」を学び、「多くの激励の言葉をいただきました」と感謝を込める。

経営企画部に配属され、理念や企業文化、仕組みを吸収している最中。大切にしたいことは「挑戦」で、「失敗を恐れずに、あらゆることに挑戦して、会社に必要とされる人財になれるよう励んでまいります」と意気込みます。



**佐々木 渉**  
マルトウ  
管理部 配属

### やり遂げる

佐々木さんは山形県南陽市出身。群馬県内の大学に進学し、4月1日付でアイ・リンクグループに入社した。「研修を受講する中で、会社の一員となること・働くことへの責任感というものをひしひしと感じています」と話す。

5月からはマルトウに配属。「まだまだ未熟なところはありますが、やり遂げることを大切にする、中途半端にしないことを大切にする。先輩方に負けぬように、日々邁進していきたいと思っています」と意気込む。



**清水 巖**  
石島運輸倉庫  
第一事業部 輸送課 配属

### 努力

邑楽町生まれ。中学・高校でサッカーを経験。4月の研修ではアイ・ロジアドバンス・マルトウ・石島運輸倉庫で仕事を体験。素直でいること、わからないことを素直に聞く姿勢の大切さを感じている。

石島運輸倉庫に配属。「期待に応えられるよう、日々の努力を欠かさず、少しでも早く先輩方や上司の方のお役に立てるようこれからもがんばってまいります」と話している。

「トラックとか大型は初めてで、毎日が勉強です」とし、「大型車は一つ一つの部品が大きいので、気を付けていきます。平和自動車でのやり方を頑張って勉強して、安全にしっかり仕事をします」と謙虚に取り組んでいる。

スリランカの自動車シェアは日本車がトップであり、「もっと勉強がしたいし、日本車が大好き」と日本を選んだ。群馬自動車大学校で整備士資格を取得し、整備士として入社した。

1992年生まれでスリランカ出身。母国の自動車整備学校で整備技術を習得し、ヒュンダイやBMWのディーラー勤務を経て、来日した。

平和自動車工業メカニックス  
ガミカ・パサン(専門卒)



スリランカ出身整備士  
— 専門卒で入社 —



みなさんは、ご自身が社会人として一步を踏み出した当時の記憶を、どれだけ留めているでしょうか。

4月に入社した若い8人は今それを感じている毎日。仕事を達成する充実感、コミュニケーションを通じた喜び、業務への疑問、時には悩みも…。

目まぐるしい日々を過ごす8人に「寄り添う存在を」と、グループでは「インストラクター制度」を今年度から導入した。年齢の近いスタッフさんが、インストラクターとなり、新入社員さんと情報を共有しながら伴走するものだ。

石島運輸倉庫の高校卒4人は、4月2週目に配属されてから、インストラクター制度を積極活用。週報をもとに、3年目で20歳のスタッフさんらが、1on1ミーティングを展開。4人は、業務中には聞けないことなどを質問したりして、先輩たちと気持ちの共有を図っている。高校卒の4人を紹介する。

## 武井 督さん (石島運輸倉庫 太田流通 C)

「自分がその日行う業務が少しずつイメージできるようになって、落ち着いて取り組めています」と語る武井さん。

働く上で大切にしているのは「余力は残さない」ことだという。「自分で気合いをしっかりと入れて、1日1日を全力で過ごしています。今自分ができることを全力で。家に帰るまでの運転する力さえ残っていればよいです」と笑う。

インストラクターの小野龍也さんは「常に真剣に取り組んでくれて、自分ももっとがんばろうってプラスの影響を受けています」と話す。武井さんは「任され、頼られる先輩方のようにになりたい」と前を見る。



## 坂本 聖奈さん (石島運輸倉庫 太田流通 C)

「全部が新しい経験で、毎日が楽しいです」と話す坂本さん。インストラクターの小島佳奈さんは「フレンドリーで自分よりも大人っぽいです」と隣ではにかむ。

働く中で感じたこととして「黙々と業務に取り組む印象でしたが、コミュニケーションを取る機会が多いです。馴染むことができるかな、と心配していましたが、話しかけてくださる方が多いので、ありがたいです」と話す。

新入社員だからわからないこともたくさん。だからこそ「わからないままにしないで、報・連・相を徹底したい」。「小島さんにも気軽に悩みごと相談できるので、ありがたいです」と話し、ふたりで目を合わせて笑っていた。

## 山口 ひなたさん (石島運輸倉庫 伊勢崎物流 C)

「入社式は本当に緊張しました」と笑い、「今は少しずつ落ち着いて取り組めるようになってきました」と振り返る山口さん。

太田流通センターと伊勢崎物流センターを中心に、臨機応変に対応。センターごとの風土に溶け込みながら、力いっぱい作業に日々奮闘している。

同期と切磋琢磨し、各センターのインストラクターとの1on1も活用。「職場のみなさんとお話する機会が日々広がっています。勉強の毎日です」と丁寧に言葉を紡ぐ。

体力をたくさん使う毎日だが、一体感で乗り越えられるという。「みんなでがんばろうっていう雰囲気があって、周囲の方と協力しながらやり切るの達成感があります」と充実感を口に出している。



## 茂木 峻真さん (石島運輸倉庫 倉庫課)

「おはようございます。ありがとうございます。すみません。基本的な礼儀など、人としてしっかりしようと心がけています」と語る茂木さん。

桐生市出身で吹奏楽部に所属していた。部活動で礼儀や集団行動、コミュニケーションを徹底しており、「さまざまな年代の先輩がいて、みなさんの体験と情報を吸収できて、毎日が楽しいです」とすっかり馴染んでいる様子だ。

「体を動かすのが好きです。日々新しい仕事を学んでいて、1日があっという間でやりがいがあります」とはにかむ。6月にはフォーク免許を取得する予定で、「『峻真に任せたい』と思ってもらえるようにしたい」と目標を語った。

# 辞令

## 春の昇格者

2022年度となり、グループ各社で辞令が交付されました。昇格者をご紹介します。



青木 豊さん

石島運輸倉庫 第一事業部  
部長代理 兼 本社営業所長



細田 光輝さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
倉庫課 主任



關口 翔子さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
伊勢崎物流 C 係長



矢澤 勝弘さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
伊勢崎物流 C 兼 高崎物流 C  
センター長



竹内 康明さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
太田流通 C センター長



権丈 茂信さん

石島運輸倉庫西日本  
第二事業部 福岡第一営業所  
次長



鳥谷 純一さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
太田流通 C 主任



小林 真弓さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
太田流通 C 主任



大関 順弘さん

石島運輸倉庫 第二事業部  
倉庫課 主任



益永 憲治さん

石島運輸倉庫西日本  
第一事業部 佐賀 C  
主任



坂本 守さん

石島運輸倉庫西日本  
第一事業部 福岡 C  
主任



若宮 耕二さん

石島運輸倉庫西日本  
第二事業部 福岡第一営業所  
主任



岩本 泰治さん

石島運輸倉庫西日本  
第二事業部 福岡配工 C  
センター長



林 直人さん

アイ・ロジアドバンス  
LC 事業部 主任



朝野 晋吾さん

アイ・ロジアドバンス  
3PL 事業部 チーフ



大塚 哲也さん

協米運輸 管理部  
部長



浦野 隆史さん

マルトウ 第一事業部  
主任

